

対象校No.

注4

学校コード F127310107938

注3

設置年度 令和 7年度

計画の区分： 学部の設置

注1

認可

注2

桃山学院大学 人間教育学部 人間教育学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正後大学設置基準適用)

学校法人桃山学院
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 大学将来計画室 大学統合準備室

職名・氏名 課長・延 康之

電話番号 0725-92-7061

(夜間) 0725-92-7061

e-mail syoraikeikaku@andrew.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

人間教育学部

<人間教育学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. 既設大学等の状況	17
5. 教育研究実施組織の状況	18
6. 附帯事項等に対する履行状況等	40
7. その他全般的事項	41

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人桃山学院

(2) 大学名

桃山学院大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒594-1198
大阪府和泉市まなび野1-1

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イデタ ゼンゾウ) 出田 善蔵 (平成28年5月)		
学長	(ナカノ ミツヒコ) 中野 瑞彦 (令和4年4月)		
学部長	(ナカムラ ヒロヤ) 中村 浩也 (令和7年4月)		
学科長等			

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 - ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和7年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
人間教育学部 人間教育学科 学士(教育学)	教育学・保育 学関係	4 年	270 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	1,080 人	-	

- (注) 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1)又は(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期														
A 入学定員	人 () []	270 () []	-													
志願者数	() []	1,862 () []	春季入学以外の 入学時期と 入学定員内訳	0.98倍												
受験者数	() []	1,822 () []														
合格者数	() []	809 () []														
B 入学者数	() []	322 () []														
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.19				

- (注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 - ・()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・転入学生は記入しないでください。
 - ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 - ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳(予定を含む)を記載してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
 - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開採用)IV.33収容定員の充足状況をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期									
1 年次	- [-] (-)	322 [-] (-)	- [-] (-)										
2 年次			- [-] (-)	277 [-] (-)	- [-] (-)								
3 年次					- [-] (-)	230 [-] (-)	- [-] (-)						
4 年次							- [-] (-)	232 [1] (5)	- [-] (-)				
計	- [-] (-)	1,061 [1] (5)											

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
令和7年度	1,061 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
			令和7年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例) ・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{1061} = \boxed{0} \%$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人間教育学部 人間教育学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					外 <small>（助手を除く）</small> の教員
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	人間教育原論	1前・後	○	2			6					1
	人間教育基礎演習1	1前	○	2			5	6	2			
	人間教育基礎演習2	1後	○	2			4	6	2	1		
	アカデミック・スキルズ1	1前		1								4
	アカデミック・スキルズ2	1後		1								4
	総合英語1	1前		1								5
	総合英語2	1後		1								5
	コミュニケーション英語1	1前		1			1					3
	コミュニケーション英語2	1後		1			1					3
	スポーツ実技1	1前		1								3
	スポーツ実技2	1後		1								3
	情報リテラシー1	1前		1			1					4
	情報リテラシー2	1後		1			1					4
小計(13科目)	-	-	-	16	0	0	11	7	2	1	0	19
教養科目	現代政治と経済	1前・後										1
	現代社会と科学技術	1前・後					1					
	現代メディアとジャーナリズム	1前										1
	現代思想と哲学	1前										1
	言語と社会	1後				1						1
	キャリア基礎(一般教養A)	2通										3
	キャリア基礎(一般教養B)	3通										3
	キャリア基礎(教職教養A)	2後					1					
	キャリア基礎(教職教養B)	3前					1					
	韓国語1	1前										1
	韓国語2	1後										1
	中国語1	1前										1
	中国語2	1後										1
	日本文学概論	1前										1
	大阪の文学	1前				1						
	音楽	1後										1
	和の伝統文化論	1前				1						
	日本国憲法	1前・後										1
	心理学	1前・後					1					1
	人権論	1前										1
	救急処置法	1前				1						3
	生涯スポーツ論	1後										1
	スポーツボランティア論	1後						1				
	生涯教育論	1前				1						
	キリスト教概論	1前・後										1
	社会貢献論	1前						1				
	多文化共生論	1後					1					
	社会福祉学概論	1前										1
	フィールドワークA	1前・後					3	3	1	1		
	フィールドワークB	1前・後					3	3	1	1		
データサイエンスの基礎	3前										1	

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					外 <small>（助手を除く）</small> の教員
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	人間教育原論	1前・後	○	2			5	1				0
	人間教育基礎演習1	1前	○	2			4	9	1	2		
	人間教育基礎演習2	1後	○	2			4	8	1	2		
	アカデミック・スキルズ1	1前		1								4
	アカデミック・スキルズ2	1後		1								4
	総合英語1	1前		1								5
	総合英語2	1後		1								5
	コミュニケーション英語1	1前		1			1	1				4
	コミュニケーション英語2	1後		1			1	1				4
	スポーツ実技1	1前		1						1		2
	スポーツ実技2	1後		1						1		2
	情報リテラシー1	1前		1						1		4
	情報リテラシー2	1後		1						1		4
小計(13科目)	-	-	-	16	0	0	8	10	1	2	0	18
教養科目	現代政治と経済	1前・後				2						1
	現代社会と科学技術	1前・後								1		
	現代メディアとジャーナリズム	1前										1
	現代思想と哲学	1前										1
	言語と社会	1後							0			1
	キャリア基礎(一般教養A)	2通										2
	キャリア基礎(一般教養B)	3通										1
	キャリア基礎(教職教養A)	2後								1		
	キャリア基礎(教職教養B)	3前								1		
	韓国語1	1前										1
	韓国語2	1後										1
	中国語1	1前										1
	中国語2	1後										1
	日本文学概論	1前										1
	大阪の文学	1前								1		
	音楽	1後										1
	和の伝統文化論	1前								1		
	日本国憲法	1前・後										1
	心理学	1前・後								2		1
	人権論	1前										1
	救急処置法	1前				1					1	3
	生涯スポーツ論	1後										1
	スポーツボランティア論	1後									1	
	生涯教育論	1前								1		
	キリスト教概論	1後										1
	社会貢献論	1前									1	
	多文化共生論	1後							1			
	社会福祉学概論	1前										1
	フィールドワークA	1前・後							4	3	0	2
	フィールドワークB	1前・後							4	3	0	2
データサイエンスの基礎	3前										1	
教養科目特別講義(外国史)	1後							2			1	
教養科目特別講義(外国史)	1後							4			1	
教養科目特別講義(日本経済史1)	1前							2			1	
教養科目特別講義(経済政策1)	2前							2			1	
教養科目特別講義(環境問題)	1前							2			1	
教養科目特別講義(サステイナビリティ)	1後							2			1	
教養科目特別講義(教育経営学)	2前							2			1	
教養科目特別講義(博物館学)	1後							2			1	
教養科目特別講義(博物館学)	2後							2			1	
教養科目特別講義(博物館資料保存)	2前							2			1	
教養科目特別講義(D-ITの文化A)	1前							2			1	
教養科目特別講義(D-ITの文化B)	1後							2			1	
教養科目特別講義(日本語学A)	2前							2			1	
教養科目特別講義(日本語学B)	2後							2			1	
教養科目特別講義(日本語学)	2後							4			1	
教養科目特別講義(日本語学)	2前							4			1	
教養科目特別講義(国際法)	2前							2			1	
教養科目特別講義(国際法)	2前							2			1	
教養科目特別講義(国際法)	2後							2			1	
教養科目特別講義(国際法)	2後							2			1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					（外の教員、助手を除く）		
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目														
	小計(31科目)	—	—	0	62	0	7	6	2	1	0	21		
	専門基礎科目	人間教育演習1	2前	○	2			9	10	1				
		人間教育演習2	2後	○	2			8	10	1	1			
		学校保健	2後		2			1						
		特別支援教育	1前・後		2			1						
		教育原理	1前・後		2			1						
		教育心理学	2前・後		2			1	1					
		教職概論	1前・後		2			1						
		保育者論	1後		2								1	
		教育行政学	3前・後		2				1					
		教育課程論	2前・後		2			1						
		保育課程論	2前		2								1	
児童文学論		1後		2								1		
子どもと遊び		1前		2								1		
子どもと文化		1後		2								1		
子どもの社会史		2前		2								1		
子どもとメディア		2前		2								1		
子どもと絵本の世界		1後		2			1					1		
発達心理学		1後		2			1					1		
人権教育論		3後		2								1		
教育評価論		2後		2			1							
異文化間教育		1後		2			1							
異文化間コミュニケーション論		2後		2			1							
環境教育論		1後		2			1		1			2		
防災・安全教育論		1後		2			2		1			3		
予防的心理学		2後		2			1							
教育臨床心理学		3前		2								1		
ソーシャルワーク論		3前		2								1		
心理教育的アセスメント		3後		2								1		
部活動論		2後		2			2	1	1			1		
小計(29科目)	—	—	12	46	0	14	12	2	1	0	15			
専門士に関する科目	保育原理	2後		2			1					1		
	社会福祉	2前		2								1		
	子ども家庭福祉	2後		2								1		
	社会的養護1	3後		2								1		
	子どもの保健1	2前		2								1		
	子どもの保健2	2後		2								1		
	子どもの健康と安全	3後		1								1		
	子どもの食と栄養	3後		2								1		
	子ども家庭支援論	3後		2								1		
	乳児保育	2前		2								1		
	障がい児保育	3後		2								1		
	社会的養護2	3後		1								1		
	子育て支援	3前		1		1						1		
	保育実習1A	2後		2								1		
	保育実習1B	3後		2		1						1		
	保育実習指導1A	2後		1								2		
保育実習指導1B	3後		1		1						1			
保育実習2	4前		2								1			
保育実習指導2	4前		1								1			
保育実習3	4前		2		1						1			
保育実習指導3	4前		1		1						1			
保育実践演習	4後		2		1						1			
小計(22科目)	—	—	0	37	0	2	0	0	0	0	10			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					（外の教員、助手を除く）	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目	教養科目特別講義(地域研究1A)	2前		2								1	
	教養科目特別講義(地域研究1B)	2後		2								1	
	教養科目特別講義(ワンダー法學A)	2前		2								1	
	教養科目特別講義(ワンダー法學B)	2後		2								1	
	教養科目特別講義(国際政治史A)	2前		2								1	
	教養科目特別講義(国際政治史B)	2後		2								1	
	教養科目特別講義(地域研究II A)	2前		2								1	
	教養科目特別講義(地域研究II B)	2後		2								1	
	教養科目特別講義(国際関係論A)	2前		2								1	
	教養科目特別講義(国際関係論B)	2後		2								1	
	教養科目特別講義(国際政治学専攻A)	2前		2								1	
	教養科目特別講義(国際政治学専攻B)	2後		2								1	
	小計(65科目)	—	—	0	136	0	6	7	1	2	0	31	
専門基礎科目	人間教育演習1	2前	○	2			10	10	1	1			
	人間教育演習2	2後	○	2			10	9	1	1			
	学校保健	2後		2			1						
	特別支援教育	1前・後		2			1						
	教育原理	1前・後		2			1						
	教育心理学	2前・後		2			1	1					
	教職概論	1前・後		2			1						
	保育者論	1後		2								1	
	教育行政学	3前・後		2				1					
	教育課程論	2前・後		2			1						
	保育課程論	2前		2								1	
	児童文学論	1後		2								0	
	子どもと遊び	1前		2								1	
	子どもと文化	1後		2								1	
	子どもの社会史	2前		2								1	
	子どもとメディア	2前		2								1	
	子どもと絵本の世界	1後		2			1					1	
	発達心理学	1後		2			1					1	
	人権教育論	3後		2								1	
	教育評価論	2後		2			1						
	異文化間教育	1後		2			1						
	異文化間コミュニケーション論	2前・後		2			1						
	環境教育論	1後		2			1		1			2	
	防災・安全教育論	1後		2			2		1			3	
	予防的心理学	2後		2			1						
	教育臨床心理学	3前		2								0	
	ソーシャルワーク論	3前		2								1	
	心理教育的アセスメント	3後		2								0	
	部活動論	2後		2			2	1	1			1	
小計(29科目)	—	—	12	46		17	11	2	1	0	13		
専門士に関する科目	保育原理	2後		2			1	1				0	
	社会福祉	2前		2								1	
	子ども家庭福祉	2後		2								1	
	社会的養護1	3前		2								1	
	子どもの保健1	2前		2					1			0	
	子どもの保健2	2後		2					1			0	
	子どもの健康と安全	3後		1								1	
	子どもの食と栄養	3後		2								1	
	子ども家庭支援論	3後		2								1	
	乳児保育	2前		2								1	
	障がい児保育	3後		2								1	
	社会的養護2	3後		1								1	
	子育て支援	3前		1		1						1	
	保育実習1A	2後		2					1			0	
	保育実習1B	3後		2		1						1	
	保育実習指導1A	2後		1					1			1	
保育実習指導1B	3後		1		1						1		
保育実習2	4前		2					1			0		
保育実習指導2	4前		1					1			0		
保育実習3	4前		2		1						1		
保育実習指導3	4前		1		1						1		
保育実践演習	4後		2		1			1			0		
小計(22科目)	—	—	0	37		2	2	0	0	0	7		

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	主要 授業科目	単位数			基幹教員等の配置					（ ） 外の教員 を 除 く	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
教職に関する科目	道徳教育指導法	2前・後		2			1						
	総合的な学習の時間の指導法	3前・後		2			1						
	特別活動論	3後		2			1						
	教育方法の理論と実践(情報通信技術の活用を含む)	2前・後		2			1						
	生徒・進路指導論	2前・後		2								1	
	生徒指導論	2後		2								1	
	教育相談	2前・後		2			1						
	幼児理解	1前		2			1						
	教育実習指導(幼)	3前		1			1	1				1	
	教育実習指導(小)	3前・後		1			3	1				1	
	教育実習指導(中・高)	3前・後		1			4	2				1	
	教育実習1(幼)	3後・4後		2			1	1				1	
	教育実習2(幼)	3後・4後		2			1	1				1	
	教育実習1(小)	3後・4後		2			3	1				1	
	教育実習2(小)	3後・4後		2			3	1				1	
	教育実習1(中・高)	3後・4後		2			4	2				1	
	教育実習2(中・高)	3後・4後		2			4	2				1	
	教職実践演習	4後		2			2	2				2	
	介護等体験指導	1後		1			1					1	
小計(19科目)	—	—	0	34	0	9	8	1	0	0	5		
領域及び保育内容に関する科目	保育内容総論	3前		2			1						
	保育領域(健康)	1前		2			1						
	健康領域(人間関係)	1前		2			1						
	保育領域(環境)	1後		2				1				1	
	保育領域(言葉)	1前		2			1	1					
	保育領域(造形表現)	1前		1			1					1	
	保育領域(音楽表現)	1前		1			1					1	
	保育内容(健康)	2前		2								1	
	保育内容(人間関係)	2後		2								1	
	保育内容(環境)	2前		2								1	
	保育内容(言葉)	2後		2								1	
	保育内容(造形表現)	2後		2			1					1	
	保育内容(音楽表現)	2後		2							1	1	
	幼稚園指導法	3後		2								1	
小計(14科目)	—	—	0	26	0	3	4	1	0	0	6		
専門科目	初等国語	2前		2			1						
	国語科教育法	2後		2			1					1	
	国語科教育法2	3前		2								1	
	国語科教育法3	3前		2								1	
	初等社会	2後		2				1					
	国際社会と教育	1前・後		2			1						
	社会科教育法	3前		2					1				
	社会科教育法2	3後		2									
	初等算数	1後		2								1	
	算数科教育法	2前		2			1					1	
	算数科教育法2	3後		2								1	
	算数科教育法3	3後		2								1	
	初等理科	1後		2			1						
	理科実験演習	3後		1			1						
	理科教育法	2前		2			1					1	
	初等生活	1前		2								1	
	生活科教育法	2後		2								1	
	初等音楽	2後		2			1						
	ピアノ1	1前		2			1					4	
	ピアノ2	1後		2			1					4	
	ピアノ3	2前		1								1	
	ピアノ4	2後		1								1	
	ピアノ5	3後		1								1	
	ピアノ6	4前		1								1	
	音楽科教育法	3前		2			1					1	
	音楽科教育法2	3後		2			1					1	
	初等図画工作	2前		2			1						
	図画工作科教育法	3後		2			1					1	
	初等家庭	3前		2								2	
	家庭科教育法	3後		2								1	
	初等体育	2前		2			1						
	子ども健康学	2後		2								1	
	体育科教育法	2後		2			1					1	
	体育科教育法2	3前		2							1		
	初等英語	2前		2			1						
	外国語(英語)教育法	2後		2			1					1	
	外国語(英語)教育法2	3前		2								1	
	異文化間理解論	2前		2			1						
小計(38科目)	—	—	0	71	0	4	5	1	0	0	18		

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	主要 授業科目	単位数			基幹教員等の配置					（ ） 外の教員 を 除 く	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
教職に関する科目	道徳教育指導法	2前・後		2			1						
	総合的な学習の時間の指導法	3前・後		2			1						
	特別活動論	3後		2			1						
	教育方法の理論と実践(情報通信技術の活用を含む)	2前・後		2			1						
	生徒・進路指導論	2前・後		2								1	
	生徒指導論	2後		2								1	
	教育相談	2前・後		2			1						
	幼児理解	1前		2			1						
	教育実習指導(幼)	3前		1			1	2				0	
	教育実習指導(小)	3前・後		1			3	2	0			2	
	教育実習指導(中・高)	3前・後		1			4	2				1	
	教育実習1(幼)	3後・4後		2			1	2				0	
	教育実習2(幼)	3後・4後		2			1	2				0	
	教育実習1(小)	3後・4後		2			3	1	0			2	
	教育実習2(小)	3後・4後		2			3	1	0			2	
	教育実習1(中・高)	3後・4後		2			4	2				1	
	教育実習2(中・高)	3後・4後		2			4	2				1	
	教職実践演習	4後		2			2	3				1	
	介護等体験指導	1後		1			2					0	
小計(19科目)	—	—	0	34		11	8	0	0	0	5		
領域及び保育内容に関する科目	保育内容総論	3前		2			1						
	保育領域(健康)	1前		2			1						
	保育領域(人間関係)	1前		2			1						
	保育領域(環境)	1後		2				1				1	
	保育領域(言葉)	1前		2			1	1					
	保育領域(造形表現)	1前		1			1					1	
	保育領域(音楽表現)	1前		1			1					1	
	保育内容(健康)	2前		2								1	
	保育内容(人間関係)	2後		2								1	
	保育内容(環境)	2前		2								1	
	保育内容(言葉)	2後		2								1	
	保育内容(造形表現)	2後		2			1					1	
	保育内容(音楽表現)	2後		2				1				1	
	幼稚園指導法	3後		2				1				1	
小計(14科目)	—	—	0	26		3	4	1	0	0	6		
専門科目	初等国語	2前		2			1						
	国語科教育法	2後		2			1					1	
	国語科教育法2	3前		2								1	
	国語科教育法3	3前		2								1	
	初等社会	2後		2				1					
	国際社会と教育	1前・後		2			1						
	社会科教育法	3前		2					1				
	社会科教育法2	3後		2									
	初等算数	1後		2								0	
	算数科教育法	2前		2			1					1	
	算数科教育法2	3後		2								1	
	算数科教育法3	3後		2								1	
	初等理科	1後		2			1						
	理科実験演習	3後		1			1						
	理科教育法	2前		2			1					2	
	初等生活	1前		2								1	
	生活科教育法	2後		2								1	
	初等音楽	2後		2			1						
	ピアノ1	1前		2			1					4	
	ピアノ2	1後		2			1					4	
	ピアノ3	2前		1								1	
	ピアノ4	2後		1								1	
	ピアノ5	3後		1								1	
	ピアノ6	4前		1								1	
	音楽科教育法	3前		2			1					1	
	音楽科教育法2	3後		2			1					1	
	初等図画工作	2前		2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					（外の教員 →助手を除く）	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
国語教育に関する科目	日本語学概論	1後			2			1					
	日本語学演習1	2前			2			1					
	日本語学演習2	2後			2			1					
	コミュニケーション特論	3後			2							1	
	日本語表現法1	1前			2			1					
	日本語表現法2	1後			2			1					
	日本文学演習1	1後			2							1	
	日本文学演習2	2前			2							1	
	文学表現特論	3前			2							1	
	日本文学史	2後			2							1	
	文化社会論特論	3前			2		1						
	海外の文学1	3後			2							1	
	海外の文学2	4前			2							1	
	漢文学概論	2後			2							1	
	漢文学演習	3前			2							1	
	書道1	3前			2							1	
	書道2	3後			2							1	
	和文化演習1	3前			2		1						
	和文化演習2	3後			2		1						
	言語技術論1	2前			2							1	
言語技術論2	2後			2							1		
国語科教育法1(中・高)	2前			2							1		
国語科教育法2(中・高)	2後			2		1							
国語科教育法3(中・高)	3前			2		1							
国語科教育法4(中・高)	3後			2		1							
小計(25科目)	—	—	0	50	0	2	1	0	0	0	5		
英語教育に関する科目	Learning and Teaching Grammar for Communication 1	1前			3							1	
	Learning and Teaching Grammar for Communication 2	1後			3							1	
	English for Communication	1通			2							1	
	Literature in English 1	1通			2		1						
	English Pronunciation Workshop	1通			2							1	
	Interactive English A1	2前			2		1						
	Interactive English B	2後			2		1						
	Writing and Oral Presentations 1	2前			2							1	
	Writing and Oral Presentations 2	2後			2							1	
	Integrated Listening 1	2前			1							1	
	Integrated Listening 2	2後			1							1	
	Interactive English A2	3通			2		1						
	Academic Listening and Reading 1	3前			2							1	
	Academic Listening and Reading 2	3後			2							1	
	Writing and Debate/Discussion 1	3前			2							1	
	Writing and Debate/Discussion 2	3後			2							1	
	English Linguistics Workshop A	3前			1							1	
	English Linguistics Workshop B	3後			1							1	
	Literature in English 2	3前			1		1						
	Literature in English 3	3後			1		1						
Academic Listening and Reading 3	4前			2							1		
Academic Listening and Reading 4	4後			2							1		
Writing and Debate/Discussion 3	4前			2							1		
Writing and Debate/Discussion 4	4後			2							1		
Practical English Teaching Workshop A	2通			2							2		
Practical English Teaching Workshop B	3通			2							1		
Practical English Teaching Workshop C	3通			2							1		
Practical English Teaching Workshop D	3通			2							1		
英語科教育法1	2前			2							1		
英語科教育法2	2後			2							1		
英語科教育法3	3前			2							1		
英語科教育法4	3後			2							1		
小計(32科目)	—	—	0	60	0	1	2	0	0	0	7		
健康・スポーツに関する科目	水泳	1前			1			1				1	
	陸上競技	1前			1							1	
	球技Ⅰ(ネット型スポーツ)	1前			1				1				
	球技Ⅱ(ゴール型スポーツ)	1後			1							1	
	球技Ⅲ(ベースボール型スポーツ)	1後			1			1					
	球技Ⅳ(ターゲット型スポーツ)	1前			1							1	
	野外活動	1後			1		3	2				1	
	器械運動	1前			1							1	
	体づくり運動	1後			1							1	
	武道	1前			1							1	
	ダンス	1前			1							1	
	体育原理	1前			2							1	
	運動生理学	1前			2			1				1	
生理学	1前			2			1				1		
スポーツ心理学	2後			2							1		
運動学	2後			2							1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					（外の教員 →助手を除く）	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
国語教育に関する科目	日本語学概論	1後			2				1				
	日本語学演習1	2前			2				1				
	日本語学演習2	2後			2				1				
	コミュニケーション特論	3後			2							1	
	日本語表現法1	1前			2			1					
	日本語表現法2	1後			2			1					
	日本文学演習1	1後			2							1	
	日本文学演習2	2前			2							1	
	文学表現特論	3前			2							1	
	日本文学史	2後			2							1	
	文化社会論特論	3前			2		1						
	海外の文学1	3後			2							1	
	海外の文学2(未開講)	4前			2							1	
	漢文学概論	2後			2							1	
	漢文学演習(未開講)	3前			2							1	
	書道1	3前			2							1	
	書道2	3後			2							1	
	和文化演習1	3前			2		1						
	和文化演習2	3後			2		1						
	言語技術論1	2前			2							1	
言語技術論2	2後			2							1		
国語科教育法1(中・高)	2前			2				1				0	
国語科教育法2(中・高)	2後			2		1							
国語科教育法3(中・高)	3前			2		1							
国語科教育法4(中・高)	3後			2		1							
小計(25科目)	—	—	0	50	0	2	1	0	0	0	4		
英語教育に関する科目	Learning and Teaching Grammar for Communication 1	1前			3							1	
	Learning and Teaching Grammar for Communication 2	1後			3							1	
	English for Communication	1通			2							1	
	Literature in English 1	1通			2		1						
	English Pronunciation Workshop	1通			2							1	
	Interactive English A1	2前			2		1						
	Interactive English B(未開講)	2後			2		1						
	Writing and Oral Presentations 1	2前			2							1	
	Writing and Oral Presentations 2	2後			2							1	
	Integrated Listening 1	2前			1							1	
	Integrated Listening 2	2後			1							1	
	Interactive English A2	3通			2		1						
	Academic Listening and Reading 1(未開講)	3前			2							0	
	Academic Listening and Reading 2(未開講)	3後			2							0	
	Writing and Debate/Discussion 1(未開講)	3前			2				1			0	
	Writing and Debate/Discussion 2	3後			2				1			0	
	English Linguistics Workshop A	3前			1							1	
	English Linguistics Workshop B	3後			1							1	
	Literature in English 2	3前			1		1						
	Literature in English 3	3後			1		1						
Academic Listening and Reading 3(未開講)	4前			2				1			0		
Academic Listening and Reading 4	4後			2				1			0		
Writing and Debate/Discussion 3(未開講)	4前			2				1			1		
Writing and Debate/Discussion 4	4後			2				1			1		
Practical English Teaching Workshop A	2通			2							1		
Practical English Teaching Workshop B	3通			2							1		
Practical English Teaching Workshop C(未開講)	3通			2							1		
Practical English Teaching Workshop D(未開講)	3通			2							1		
英語科教育法1	2前			2							1		
英語科教育法2	2後			2							1		
英語科教育法3	3前			2							1		
英語科教育法4	3後			2							1		
小計(32科目)	—	—	0	60	0	1	2	0	0	0	7		
健康・スポーツに関する科目	水泳	1前			1			1				1	0
	陸上競技	1前			1							1	1
	球技Ⅰ(ネット型スポーツ)	1前			1					1			
	球技Ⅱ(ゴール型スポーツ)	1後			1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					（外の教員、助手を除く）
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
健康・スポーツに関する科目	衛生学	3後		2		1						
	公衆衛生学	3前		2		1						
	スポーツ経営管理学	3後		2				1				
	スポーツ社会学	3前		2								1
	アスレティックトレーニング論	3前		2								1
	スポーツ医学	3後		2		1						1
	スポーツ測定評価法	1前		2								1
	エアロビックエクササイズ演習	1後		2								1
	レクリエーション理論演習	1前		2								1
	コンディショニング理論演習	2後		2								1
	テーピング理論演習	1前		2								1
	トレーニング理論演習	1前・後		2								1
	スポーツ栄養学	2前		2								1
	機能解剖学Ⅰ	2前		2								1
	機能解剖学Ⅱ	2後		2								1
	障害者スポーツ演習	2後		2								1
	健康運動指導論	2後		2								1
	スポーツコーチング論	2後		2			1					
	アスレティックリハビリテーション理論演習	3後		2								1
	運動生理学演習	3前		2		1						1
	生活習慣病論	3前		2		1						2
保健体育科教育法1	2通		4		2						2	
保健体育科教育法2	3前		4		2	1					1	
小計(39科目)	—	—	0	71	0	6	2	1	0	0	21	
養護に関する科目	養護概論	1前		2		1						
	健康相談活動	2後		2								1
	栄養学	2前		2								1
	解剖学	1後		2		1						
	病理学	2前		2		1						
	精神保健	3前		2		1						
	看護学概論	1通		4		1						
	看護実習Ⅰ	1前		2					1			
	看護実習Ⅱ	2前		2		1			1			1
	看護実習Ⅲ	2後		1		1			1			1
	看護実習Ⅳ(救急処置)	2後		1		1			1			1
	養護実習指導	3前・後		1		1			1			1
	養護実習Ⅰ	3後・4後		2		1			1			1
	養護実習Ⅱ	3後・4後		2		1			1			1
	教職実践演習(養護教諭)	4後		2		1						1
小計(15科目)	—	—	0	29	0	3	0	0	1	0	2	
特別支援教育に関する科目	特別支援教育総論	2後		2		1						
	知的障害者の心理・生理・病理	3前		2		1						1
	肢体不自由者の心理・生理・病理	3後		2		2						1
	病弱者の心理・生理・病理	3後		2		1						1
	知的障害教育論Ⅰ	3前		2		1						
	知的障害教育論Ⅱ	3後		2								1
	肢体不自由教育論Ⅰ	3前		2								1
	肢体不自由教育論Ⅱ	3後		2								1
	病弱教育論	3後		2								1
	視覚障害者の心理・生理・病理	3後		1		1						1
	聴覚障害者の心理・生理・病理	3前		1		1						1
	重複障害者等の心理・生理・病理	4前		2		1						1
	視覚障害教育論	3前		1								1
	聴覚障害教育論	3後		1								1
	重複障害者等教育論	4前		2		1						1
	障害者福祉論	4後		2								1
	発達障害者教育総論	4後		2		1						1
	教育実習指導(特別支援)	3後		1		2						1
	教育実習(特別支援)	4後		2		2						1
小計(19科目)	—	—	0	33	0	3	0	0	0	0	10	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					（外の教員、助手を除く）
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
健康・スポーツに関する科目	衛生学	3後		2		1						
	公衆衛生学	3前		2		1						
	スポーツ経営管理学	3後		2				1				
	スポーツ社会学	3前		2								0
	アスレティックトレーニング論	3前		2								1
	スポーツ医学	3後		2		1						1
	スポーツ測定評価法	1前		2								1
	エアロビックエクササイズ演習	1後		2								1
	レクリエーション理論演習	1前		2								0
	コンディショニング理論演習	2後		2								1
	テーピング理論演習	1前		2								1
	トレーニング理論演習	1前・後		2								1
	スポーツ栄養学	2前		2								1
	機能解剖学Ⅰ	2前		2								1
	機能解剖学Ⅱ	2後		2								1
	障害者スポーツ演習	2後		2								1
	健康運動指導論	2後		2								0
	スポーツコーチング論	2後		2			1					
	アスレティックリハビリテーション理論演習	3後		2								1
	運動生理学演習	3前		2		1						1
	生活習慣病論	3前		2		1						2
保健体育科教育法1	2通		4		2						2	
保健体育科教育法2	3前		4		2	1					2	
小計(39科目)	—	—	0	71	0	7	4	2	1	0	18	
養護に関する科目	養護概論	1前		2		1						
	健康相談活動	2後		2								0
	栄養学	2前		2								1
	解剖学	1後		2		1						
	病理学	2前		2		1						
	精神保健	3前		2		1						
	看護学概論	1通		4		1						
	看護実習Ⅰ	1前		2						1		
	看護実習Ⅱ	2前		2		1			1			0
	看護実習Ⅲ	2後		1		1			1			1
	看護実習Ⅳ(救急処置)	2後		1		1			1			0
	養護実習指導	3前・後		1		1			1			1
	養護実習Ⅰ	3後・4後		2		1			1			1
	養護実習Ⅱ	3後・4後		2		1			1			1
	教職実践演習(養護教諭)	4後		2		1						1
小計(15科目)	—	—	0	29	0	3	0	0	1	0	2	
特別支援教育に関する科目	特別支援教育総論	2後		2		1						
	知的障害者の心理・生理・病理	3前		2		1						1
	肢体不自由者の心理・生理・病理	3後		2		2						1
	病弱者の心理・生理・病理	3後		2		1						1
	知的障害教育論Ⅰ	3前		2		1						
	知的障害教育論Ⅱ	3後		2								1
	肢体不自由教育論Ⅰ	3前		2								1
	肢体不自由教育論Ⅱ	3後		2								1
	病弱教育論	3後		2								1
	視覚障害者の心理・生理・病理	3後		1		1						1
	聴覚障害者の心理・生理・病理	3後		1		1						1
	重複障害者等の心理・生理・病理	4前		2		1						1
	視覚障害教育論	3前		1								1
	聴覚障害教育論	3後		1								1
	重複障害者等教育論	4前		2		1						1
	障害者福祉論	4後		2								1
	発達障害者教育総論	4後		2		1						1
	教育実習指導(特別支援)	3後		1		2						1
	教育実習(特別支援)	4後		2		2						1
小計(19科目)	—	—	0	33	0	3	0	0	0	0	9	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					外の教員(助手を除く)
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
日本語教育に関する科目	日本語教育事情	1後		2								1
	第二言語習得論	2前		2								1
	日本語教授法	2後		2								1
	日本語教育演習	2後		2			1					
	日本語教育実習	3前		2								
	日英比較言語学	2後		2								1
小計(6科目)			0	12	0	0	2	0	0	0	0	3
学校図書館に関する科目	学校経営と学校図書館	3前		2								1
	学校図書館メディアの構成	3前		2								1
	学習指導と学校図書館	3前		2								1
	読書と豊かな人間性	3後		2								1
	情報メディアの活用	3後		2								1
	小計(5科目)			0	10	0	0	0	0	0	0	0
キャリアに関する科目	学校インターンシップ	2前		2		7	8	1				
	インターンシップA	1前・後		2		1	1					
	インターンシップB	1前・後		2		1	2					
	インターンシップC	1前・後		2		1	2					
	インターンシップD	1前・後		2		1	2					
	海外インターンシップA	1後		2				1				
	海外インターンシップB	1後		2				1				
	海外インターンシップC	1後		2				1				
	海外インターンシップD	1後		2				1				
	社会貢献活動A	1前・後		2				1				
	社会貢献活動B	1前・後		2				1				
	社会貢献活動C	1前・後		2				1				
	社会貢献活動D	1前・後		2				1				
	キャリア演習1	3前	○	2		4	5	1				2
	キャリア演習2	3後	○	2		5	5	1	1			2
	キャリア演習3	4前		2		6	4	1				2
小計(16科目)			4	28	0	10	11	2	1	0	0	3
専門演習・卒業研究	教育学専門演習1	3前	○	2		14	12	3				
	教育学専門演習2	3後	○	2		14	12	3				
	教育学専門演習3	4前	○	2		16	15	3				
	教育学専門演習4	4後	○	2		16	15	3				
	卒業研究	4通		4		16	15	3				
小計(5科目)			12	0	0	16	15	3	0	0	0	0
合計(328科目)			44	569	0	19	17	3	1	0	0	116

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目 16単位、教養科目 12単位以上、専門基礎科目 12単位以上、専門科目 56単位以上を履修し、総計 124単位以上を履修すること。
履修科目の登録の上限:24単位(各学期)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					外の教員(助手を除く)
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
日本語教育に関する科目	日本語教育事情	1後		2								1
	第二言語習得論	2前		2								1
	日本語教授法	2後		2								1
	日本語教育演習	2後		2			1					
	日本語教育実習(未開講)	3前		2								
	日英比較言語学	2後		2								1
小計(6科目)			0	12	0	0	2	0	0	0	0	3
学校図書館に関する科目	学校経営と学校図書館	3前		2								1
	学校図書館メディアの構成	3前		2								1
	学習指導と学校図書館	3前		2								1
	読書と豊かな人間性	3後		2								1
	情報メディアの活用	3後		2								1
	小計(5科目)			0	10	0	0	0	0	0	0	0
キャリアに関する科目	学校インターンシップ	2前		2		7	9	1	1			
	インターンシップA	1前・後		2		2	1					
	インターンシップB	1前・後		2		2	1					
	インターンシップC	1前・後		2		2	1					
	インターンシップD	1前・後		2		2	1					
	海外インターンシップA	1後		2				1				
	海外インターンシップB	1後		2				1				
	海外インターンシップC	1後		2				1				
	海外インターンシップD	1後		2				1				
	社会貢献活動A	1前・後		2		5	1					
	社会貢献活動B	1前・後		2		5	1					
	社会貢献活動C	1前・後		2		5	1					
	社会貢献活動D	1前・後		2		5	1					
	キャリア演習1	3前	○	2		6	2	1				3
	キャリア演習2	3後	○	2		6	2	1	0			3
	キャリア演習3	4前		2		6	3	1				1
小計(16科目)			4	28	0	15	12	2	1	0	0	3
専門演習・卒業研究	教育学専門演習1	3前	○	2		15	15	2	2			
	教育学専門演習2	3後	○	2		15	15	2	2			
	教育学専門演習3	4前	○	2		15	14	3				
	教育学専門演習4	4後	○	2		15	14	3				
	卒業研究	4通		4		15	14	3				
小計(5科目)			12	0	0	16	15	3	2	0	0	0
合計(362科目)			44	643	0	20	18	3	2	0	0	117

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目 16単位、教養科目 12単位以上、専門基礎科目 12単位以上、専門科目 56単位以上を履修し、総計 124単位以上を履修すること。
履修科目の登録の上限:24単位(各学期)

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
- ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼担」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)数」は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)数」は、認可時又は届出時の「兼任・兼担」数との比較において変更となっている箇所を**赤字**としてください。
(専任教員から基幹教員に変更したことをもって赤字とする必要はありません。)
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度(新)】→【令和6年度(新)】→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度(旧)】→【令和6年度(旧)】

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和7年度】

- ・科目担当教員の見直しにより、「人間教育原論」の基幹教員等の配置を「基幹教員 教授6」「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員 教授5」「基幹教員 准教授1」に変更。
- ・科目担当教員の見直しにより、「人間教育基礎演習1」の基幹教員等の配置を「基幹教員 教授5」、「基幹教員 准教授6」、「基幹教員 講師2」から「基幹教員 教授4」、「基幹教員 准教授9」、「基幹教員 講師1」、「基幹教員 助教2」に変更。
- ・科目担当教員の見直しにより、「人間教育基礎演習2」の基幹教員等の配置を「基幹教員 教授4」、「基幹教員 准教授6」、「基幹教員 講師2」、「基幹教員 助教1」から「基幹教員 教授4」、「基幹教員 准教授8」、「基幹教員 講師1」、「基幹教員 助教2」に変更。
- ・科目担当教員の見直しにより、「コミュニケーション英語1」「コミュニケーション英語2」の基幹教員等の配置を「基幹教員 准教授1」、「基幹教員以外の教員3」から「基幹教員 教授1」、「基幹教員 准教授1」、「基幹教員以外の教員4」に変更。
- ・科目担当教員の見直しにより、「スポーツ実技1」「スポーツ実技2」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員3」から「基幹教員 准教授1」、「基幹教員 助教1」、「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・科目担当教員の見直しにより、「言語と社会」の基幹教員等の配置を「基幹教員 教授1」「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・科目担当教員の見直しにより、「キャリア基礎（一般教養A）」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員3」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・科目担当教員の見直しにより、「キャリア基礎（一般教養B）」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員3」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・科目担当教員の見直しにより、「心理学」の基幹教員等の配置を「基幹教員 准教授1」、「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員 准教授2」、「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・科目担当教員の見直しにより、「救急処置法」の基幹教員等の配置を「基幹教員 教授1」、「基幹教員以外の教員3」から「基幹教員 教授1」、「基幹教員 助教1」、「基幹教員以外の教員3」に変更。
- ・科目担当教員の職務の都合により、「キリスト教概論」の配当年次を「1前・後」から「1後」に変更。
- ・科目担当教員の見直しにより、「フィールドワークA」「フィールドワークB」の基幹教員等の配置を「基幹教員 教授3」、「基幹教員 准教授3」、「基幹教員 講師1」、「基幹教員 助教1」から「基幹教員 教授4」、「基幹教員 准教授3」、「基幹教員 助教2」に変更。
- ・大学統合に伴い履修可能な他学部科目の選択肢を増やす為に、科目区分（教養科目）において教養科目特別講義として「経済学特講-現代日本経済の統計分析」、「外国史」、「日本経済史I」、「経済政策I」、「環境問題概論」、「サステナビリティ論」、「教育経営学」、「博物館概論」、「博物館経営論」、「博物館資料保存論」、「ドイツの文化A」、「ドイツの文化B」、「日本語教授法の基礎A」、「日本語教授法の基礎B」、「日本語文法論」、「日本語学概論」、「グローバル体験セミナー-交換留学生と英語で言葉について学ぶ」、「国際機構論A」、「国際機構論B」、「国際法A」、「国際法B」、「地域研究IA」、「地域研究IB」、「ジェンダー法学A」、「ジェンダー法学B」、「国際政治史A」、「国際政治史B」、「地域研究IIA」、「地域研究IIB」、「国際関係論A」、「国際関係論B」、「国際政治事情研究A」、「国際政治事情研究B」、「世界の市民-戦争と正義-日本を巡る国際法上の諸問題」を追加。
- ・科目担当教員の見直しにより、「人間教育演習1」の基幹教員等の配置を「基幹教員 教授9」、「基幹教員 准教授10」、「基幹教員 講師1」から「基幹教員 教授10」、「基幹教員 准教授10」、「基幹教員 講師1」、「基幹教員 助教1」に変更。
- ・科目担当教員の見直しにより、「人間教育演習2」の基幹教員等の配置を「基幹教員 教授8」、「基幹教員 准教授10」、「基幹教員 講師1」、「基幹教員 助教1」から「基幹教員 教授10」、「基幹教員 准教授9」、「基幹教員 講師1」、「基幹教員 助教1」に変更。
- ・科目担当教員の見直しにより、「児童文学論」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員 教授1」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすために、「異文化間コミュニケーション」の配当年次を「2後」から「2前・後」に変更。
- ・科目担当教員の職位変更により、「教育臨床心理学」「心理教育的アセスメント」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員 教授1」に変更。
- ・科目担当教員の見直しにより、「保育原理」の基幹教員等の配置を「基幹教員 教授1」、「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員 教授1」、「基幹教員 准教授1」に変更。
- ・カリキュラム編成の見直しにより、「社会的養護1」の配当年次を「3後」から「3前」に変更。
- ・科目担当教員の見直しにより、「子どもの保健1」「子どもの保健2」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員 准教授1」に変更。
- ・科目担当教員の職位変更により、「保育実習1A」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員 准教授1」に変更。
- ・科目担当教員の職位変更により、「保育実習指導1A」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員 准教授1」、「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・科目担当教員の見直しにより、「保育実習2」「保育実習指導2」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員 准教授1」に変更。
- ・科目担当教員の見直しにより、「保育実践演習」の基幹教員等の配置を「基幹教員 教授1」、「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員 教授1」、「基幹教員 准教授1」に変更。
- ・科目担当教員の職位変更により、「教育実習指導（幼）」「教育実習1（幼）」「教育実習2（幼）」の基幹教員等の配置を「基幹教員 教授1」、「基幹教員 准教授1」、「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員 教授1」、「基幹教員 准教授2」に変更。
- ・履修対象者数が当初見直しより少なくなったため、「教育実習指導（小）」「教育実習1（小）」「教育実習2（小）」の基幹教員等の配置を「基幹教員 教授3」、「基幹教員 講師1」、「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員 准教授2」、「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・科目担当教員の見直しにより、「教職実践演習」の基幹教員等の配置を「基幹教員 教授2」、「基幹教員 准教授2」、「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員 教授2」、「基幹教員 准教授3」、「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・科目担当教員の職位変更により、「介護等体験指導」の基幹教員等の配置を「基幹教員 教授1」、「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員 教授2」に変更。
- ・科目名称誤記のため「健康領域（人間関係）」を「保育領域（人間関係）」に変更。
- ・科目担当教員の職務の都合により、「初等社会」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「社会科教育法」の配当年次を「3前」から「3前・後」に変更。
- ・科目担当教員の見直しにより、「算数科教育法」の基幹教員等の配置を「基幹教員 准教授1」「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員 准教授1」「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・カリキュラム編成の見直しにより、「算数科教育法2」「算数科教育法3」の配当年次をいずれも「3後」から「3前」に変更。
- ・科目担当教員の就任辞退により、「初等理科」「理科実験演習」の基幹教員等の配置を「基幹教員 准教授1」から担当者なしに変更。
なお、後任については令和7（2025）年7月迄を目途に採用予定（現在公募中）。
- ・科目担当教員の見直しにより、「理科教育法」の基幹教員等の配置を「基幹教員 准教授1」「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「生活科教育法」の配当年次を「2後」から「2前・後」に変更。
- ・科目担当教員の見直しにより、「初等家庭」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・科目担当教員の見直しにより、「国語科教育法1（中・高）」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員 教授1」に変更。
- ・科目担当教員の見直しにより、「Writing and Debate/Discussion 1」「Writing and Debate/Discussion 2」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員 准教授1」に変更。
- ・科目担当教員の見直しにより、「Academic Listening and Reading 3」「Academic Listening and Reading 4」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員 准教授1」に変更。
- ・科目担当教員の見直しにより、「Practical English Teaching Workshop A」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・科目担当教員の職位変更により、「水泳」の基幹教員等の配置を「基幹教員 准教授1」、「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員 准教授1」、「基幹教員 助教1」に変更。
- ・科目担当教員の見直しにより、「陸上競技」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員 助教1」「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・履修予定者数の増加により、「野外活動」の基幹教員等の配置を「基幹教員 教授3」、「基幹教員 准教授2」、「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員 教授3」、「基幹教員 准教授3」、「基幹教員 講師1」、「基幹教員 助教1」、「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・科目担当教員の職位変更により、「スポーツ心理学」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員 教授1」に変更。
- ・科目担当教員の見直しにより、「運動学」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員 准教授1」に変更。
- ・科目担当教員の職位変更により、「スポーツ社会学」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員 准教授1」に変更。
- ・科目担当教員の見直しにより、「レクリエーション理論演習」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員 助教1」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすために、「コンディショニング理論演習」の配当年次を「2後」から「2前・後」に変更、ならびに基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員 教授1」、「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・科目担当教員の見直しにより、「健康運動指導論」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員 助教1」に変更。
- ・履修予定者数の増加により、「保健体育科教育法1」の基幹教員等の配置を「基幹教員 教授2」、「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員 教授2」、「基幹教員 准教授2」、「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・履修予定者数の増加により、「保健体育科教育法2」の基幹教員等の配置を「基幹教員 教授2」、「基幹教員 准教授1」、「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員 教授2」、「基幹教員 准教授1」、「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・科目担当教員の就任辞退により、「健康相談活動」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から担当者なしに変更。
なお、後任については令和7（2025）年7月迄を目途に採用予定（現在公募中）。

- ・科目担当教員の就任辞退により、「看護実習Ⅱ」「看護実習Ⅳ」の基幹教員等の配置を「基幹教員 教授1」、「基幹教員 助教1」、「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員 教授1」、「基幹教員 助教1」に変更。なお、後任1名については令和7（2025）年7月までを目途に採用予定。
- ・科目担当教員の職務の都合により、「聴覚障害者の心理・生理・病理」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・科目担当予定教員の辞退による「障害者福祉論」の科目担当者変更に伴い、専門科目/特別支援教育に関する科目の基幹教員以外の教員の総数「10」から「9」に変更。
- ・科目名称誤記のため「発達障害者教育総論」を「発達障害等教育総論」に変更。
- ・科目区分誤記のため「学校図書に関する科目」を「学校司書に関する科目」に変更。
- ・科目担当教員の見直しにより、「学校インターンシップ」の基幹教員等の配置を「基幹教員 教授7」、「基幹教員 准教授8」、「基幹教員 講師1」から「基幹教員 教授7」、「基幹教員 准教授9」、「基幹教員 講師1」、「基幹教員 助教1」に変更。
- ・科目担当教員の見直しにより、「インターンシップA」の基幹教員等の配置を「基幹教員 教授1」、「基幹教員 准教授1」から「基幹教員 教授2」、「基幹教員 准教授1」に変更。
- ・科目担当教員の見直しにより、「インターンシップB」「インターンシップC」「インターンシップD」の基幹教員等の配置を「基幹教員 教授1」、「基幹教員 准教授2」から「基幹教員 教授2」、「基幹教員 准教授1」に変更。
- ・科目担当教員の見直しにより、「社会貢献活動A」「社会貢献活動B」「社会貢献活動C」「社会貢献活動D」の基幹教員等の配置を「基幹教員 講師1」から「基幹教員 教授5」、「基幹教員 講師1」に変更。
- ・科目担当教員の見直しにより、「キャリア演習1」の基幹教員等の配置を「基幹教員 教授4」、「基幹教員 准教授5」、「基幹教員 講師1」、「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員 教授6」、「基幹教員 准教授2」、「基幹教員 講師1」、「基幹教員以外の教員3」に変更。
- ・科目担当教員の見直しにより、「キャリア演習2」の基幹教員等の配置を「基幹教員 教授5」、「基幹教員 准教授5」、「基幹教員 講師1」、「基幹教員 助教1」、「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員 教授6」、「基幹教員 准教授2」、「基幹教員 講師1」、「基幹教員以外の教員3」に変更。
- ・科目担当教員の見直しにより、「キャリア演習3」の基幹教員等の配置を「基幹教員 教授6」、「基幹教員 准教授4」、「基幹教員 講師1」、「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員 教授6」、「基幹教員 准教授3」、「基幹教員 講師1」、「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・科目担当教員の見直しにより、「教育学専門演習1」「教育学専門演習2」の基幹教員等の配置を「基幹教員 教授14」、「基幹教員 准教授12」、「基幹教員 講師3」から「基幹教員 教授15」、「基幹教員 准教授15」、「基幹教員 講師2」、「基幹教員 助教2」に変更。
- ・科目担当教員の見直しにより、「教育学専門演習3」「教育学専門演習4」「卒業研究」の基幹教員等の配置を「基幹教員 教授16」、「基幹教員 准教授15」、「基幹教員 講師3」から「基幹教員 教授15」、「基幹教員 准教授14」、「基幹教員 講師3」に変更。

- (注)・2（1）-① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更）や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更）については、記入しないでください。
 - ・不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
26 科目	302 科目	0 科目	328 科目	26 科目 []	336 科目 [34]	科目 []	362 科目 [34]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	社会科教育法 2	2	3	専門	選択	科目担当予定者の本務先の都合により、科目を担当することが難しい旨の申し出があり後任担当者を探したが適任者が見つからず未開講となった。2026（令和8）年度は開講すべく科目担当者の人選を行う。
2	体育科教育法 2	2	3	専門	選択	科目担当予定者の本務先の都合により、科目を担当することが難しい旨の申し出があり後任担当者を探したが適任者が見つからず未開講となった。2026（令和8）年度は開講すべく科目担当者の人選を行う。
3	Academic Listening and Reading 1	2	3	専門	選択	科目担当予定者の本務先の都合により、科目を担当することが難しい旨の申し出があり後任担当者を探したが適任者が見つからず未開講となった。2026（令和8）年度は開講すべく科目担当者の人選を行う。
4	Academic Listening and Reading 2	2	3	専門	選択	科目担当予定者の本務先の都合により、科目を担当することが難しい旨の申し出があり後任担当者を探したが適任者が見つからず未開講となった。2026（令和8）年度は開講すべく科目担当者の人選を行う。

- (注)・配当年次に達しているに関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講となった科目はいずれも必修科目ではなく他に選択肢となる科目が複数あるため学生の履修に対する影響はない。なお、今回未開講となった科目については次年度は開講すべく早い段階より科目担当教員の人選を進めていく。

- (注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{4}{328} = \boxed{1.21} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1)	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 <共用する他の学校> 桃山学院高等学校(収容 定員2,280名)基準面積 (運動場として)8,400 ㎡(中学校との共用可)			
	校舎敷地	178,487.37㎡ 178,651.17㎡	1,155.3㎡	25,239.7㎡	204,882.37㎡ 205,046.17㎡	桃山学院中学校(収容定 員360名)基準面積(運 動場として)4,800㎡			
	そ の 他	43,383.63㎡ 46,748.83㎡	0㎡	0㎡	43,383.63㎡ 46,748.83㎡	「その地」に借用地 (3529㎡)が含まれる一 期間は、R3年4月1日～R6 年3月31日だが、更新手 定一 既存施設の用途変更によ る増減、「その他」に算 入していた借用地 (3,529㎡)が令和7 (2025)年3月末に契約 満了による減(7)			
	合 計	221,871.00㎡ 225,400㎡	1,155.30㎡	25,239.7㎡	248,266㎡ 251,795㎡				
(2) 校 舎	専 用	76,865.36㎡ 71,117.20㎡	0㎡	0㎡	76,865.36㎡ 71,117.20㎡	大学全体 既存施設の用途変更(研 究室、教職センター)に よる増、令和8(2026) 年度竣工計画の工学部 (設置認可申請中)棟面 積を算入(7)			
	(71,269.65㎡) (71,117.20㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(71,269.65㎡) (71,117.20㎡)					
(3) 教室・教員研究室	教 室		147室	教員研究室	43室 40室	大学全体 既存施設の用途変更(研 究室)(7)			
(4)	新設学部等 の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具 点	標本 点	学部等単位での特定不能 なため、大学全体の数 <図書、学術雑誌>総合 研究所蔵書追加による増 等(7) <機械・器具>物品の更 新にともなう不用品を廃 棄(7)	
		〔うち外国書〕	電子図書 冊 〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル 種 〔うち外国書〕				
	人間教育学部 人間教育学科	870,085 [257,665] 835,387 [260,219] (870,085 [257,665]) (835,387 [260,219])	1,385 [48] 1,297 [48] (1,385 [48]) (1,297 [48])	8,388 [2,402] 7,116 [2,364] (8,388 [2,402]) (7,116 [2,364])	38,614 [38,610] 26,845 [26,841] (38,614 [38,610]) (26,845 [26,841])	16,825 17,444 16,825 (17,444)	1 (1)		
	計	870,085 [257,665] 835,387 [260,219] (870,085 [257,665]) (835,387 [260,219])	1,385 [48] 1,297 [48] (1,385 [48]) (1,297 [48])	8,388 [2,402] 7,116 [2,364] (8,388 [2,402]) (7,116 [2,364])	38,614 [38,610] 26,845 [26,841] (38,614 [38,610]) (26,845 [26,841])	16,825 17,444 16,825 (17,444)	1 (1)		
(5) スポーツ施設等	スポーツ施設		講堂		厚生補導施設		大学全体 <スポーツ施設>屋内野 球練習場新設(7) <講堂>積算漏れ(7)		
	1,329.97㎡ 933.97㎡		1013.6㎡ 0㎡		19,272.81㎡				
(6)	経費の見 積り及び 維持方法 の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費：大学全体 図書購入費には電子 ジャーナル・データベ ースの整備費(運用コスト 含む)を含む。 <教員1人当り研究費等 >転籍教員の処遇に基づ く変更(7) <設備購入費>予定より も増加したため(7)
		教員1人当り研究費等	495千円 300千円	495千円 300千円	図書購入費	0千円	8,289千円	8,289千円	
	共同研究費等	8,557千円	8,557千円	設備購入費	425,893千円 420,700千円	3,529千円	3,529千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,380千円	第2年次 1,150千円	第3年次 1,150千円	第4年次 1,150千円	第5年次 —千円	第6年次 —千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		補助金収入、寄付金収入、雑収入等							

- (注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)又は(その1の3)に準じて作成してください。
(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び
「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA/C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・高等専門学校については「(3)教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
 - ・国立大学については「(6)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	桃山学院大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
経済学部	4	360	-	1,440	-	1.07	1.03	-	昭和34	-				
経済学科	4	360	-	1,440	学士(経済学)	1.07	1.03	-	昭和34	大阪府和泉市まなび野1番1号				
社会学部	4	360	-	1,440	-	1.04	1.00	-	昭和41	-				
社会学科	4	260	-	1,040	学士(社会学)	1.08	1.04	-	昭和41	大阪府和泉市まなび野1-1				
ソーシャルデザイン学科	4	100	-	400	学士(社会福祉学)	0.92	-	-	平成10	同上	令和4年4月 学科名称変更(旧:社会福祉学科)			
経営学部	4	295	-	1,180	-	1.10	1.07	-	昭和48	-				
経営学科	4	295	-	1,180	学士(経営学)	1.10	1.07	-	昭和48	大阪府和泉市まなび野1-1				
国際教養学部	4	275	-	1,100	-	0.94	-	-	平成20	-				
英語・国際文化学科	4	275	-	1,100	学士(国際教養学)	0.94	-	-	平成20	大阪府和泉市まなび野1-1				
法学部	4	200	-	800	-	1.08	1.04	-	平成14	-				
法律学科	4	200	-	800	学士(法学)	1.08	1.04	-	平成14	大阪府和泉市まなび野1-1				
ビジネスデザイン学部	4	200	-	800	-	1.00	-	-	令和3	-				
ビジネスデザイン学科	4	200	-	800	学士(ビジネスデザイン)	1.00	-	-	令和3	大阪府大阪市阿倍野区昭和3-1-57				
人間教育学部	4	270	-	1,080	-	0.98	-	-	令和7	-	令和7(2025)年4月 同一法人2大学(桃山学院大学、桃山学院教育大学)の統合に伴う学部設置			
人間教育学科	4	270	-	1,080	学士(教育学)	0.98	-	-	令和7	大阪府和泉市まなび野1-1	第1・2・3・4年次開設(複数年次)			
大学全体	4	1,960	-	7,840	-	-	-	-	-	-				

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとに、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。
 詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
認可時 (令和7年)	・教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学人数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。	【認可】 遵守事項 アドミッション・ポリシーを踏まえ2025（令和7）年度入学選抜を実施し、入学定員270名に対し志願者数1,862名、入学者322名（入学定員充足率1.19）、収容定員充足率は0.98（修業年限超過者を控除する場合0.97）となっている。（7）	履行中 学修環境に留意しながら適切な入学選抜を実施することで、継続して入学定員に定める入学人数の確保に努め、今後の収容定員充足率も踏まえて、必要に応じて適切な定員規模の見直しを検討する。（7）
認可時 (令和7年)	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想について着実に実施すること。	【認可】 助言事項 退職者等の補充においては、教育研究の継続性から年齢バランスを計画的に解消するため、開設初年度より、具体的には、30歳代から50歳代の若手教員の採用を含む採用計画に沿った採用活動を着実に行う。2025（令和7）年に20歳代の助教を1名採用した。（7）	履行中 基幹教員の採用にあたっては、教育研究業績、保有学位、専攻分野と授業科目の科目適合性、社会貢献の実績 および学校教諭や教育委員会等の実務経験を総合的に判断し、職位および年齢バランスを考慮した採用を行う。（7）

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）（7）」と記載してください。

【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<人間教育学部 人間教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし	

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

桃山学院大学に、全学ファカルティ・ディベロップメント(教育活動の質的向上・発展に関して組織的かつ恒常的に行う活動をいう。以下「FD」という。)推進委員会(以下、「委員会」という。)を置く。

(全学ファカルティ・ディベロップメント(FD)推進委員会規程第1条)

委員会は、学部・研究科および学内諸組織が行うFDを支援するとともに、全学的かつ恒常的にFDの検討を行い、その質的充実を図ることを目的とする。

(全学ファカルティ・ディベロップメント(FD)推進委員会規程第2条)

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

委員会は月1回程度実施している。委員長は副学長が務め、委員は各学部教授会と共通教育機構から選出された教員（各1名）、その他委員長が認めた者により構成される。

c 委員会の審議事項等

1. 教育活動の質的向上に向けた施策の検討と推進
2. 学生の学習能力の育成、学習支援に関わる施策の検討と推進
3. 講演会および研修会等の企画立案
4. 学部・研究科および学内諸組織が行うFDに対する支援
5. 他大学等のFDに関する資料、セミナー等の情報の収集と学内諸組織への提供
6. 各年度における本学FDの総括的把握と検討
7. その他FDの推進に必要な事項

(全学ファカルティ・ディベロップメント(FD)推進委員会規程第5条)

② 実施状況

a 実施内容

- ・学生による授業評価アンケートの実施
- ・SA・TA制度の運用
- ・全学FD研修会の開催
- ・FD NEWSの発行 他

b 実施方法

- ・授業評価アンケートは、ポータルサイトで学生が回答を行う。
- ・SA・TA制度については毎学期、教授会等を通じて教員へ活用を促し、申請があった計画を委員会で審議し、対応している。
- ・全学FD研修会は対面のほか、リモートやオンデマンド等を活用し実施している。
- ・委員会で実施している取り組みを教職員に周知することを目的にFD NEWSを定期的に発行（大学Webサイト上で公開）している。
- ・大学統合前には、本学部で毎年10月に「未来をつくる人間教育フォーラム」を開催しており、全教員がFDとして出席していた。今後は、委員会と連携しながら、教員養成学部の特性に応じた活動を実施する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・授業評価アンケートは、原則全科目を対象に専任・兼任問わず各学期実施している。
- ・SA・TA制度は毎学期、教授会等を通じて教員へ活用を促し、申請があった計画を委員会で審議している。
- ・全学FD研修会は毎年2回以上実施しており、その時々ニーズに合わせた研修を実施している。
2024年度は授業の内容・運営の向上やアクティブラーニングをテーマに研修を行った。
- ・委員会で実施している取り組みを教職員に周知することを目的にFD NEWSを定期的に発行している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・授業評価アンケートは、アンケートの結果を踏まえた所見を各教員が受講生へフィードバックすることで授業改善に向けて取り組んでいる。
- ・SA・TA制度について、導入した授業ごとに担当教員、受講生、SA・TAなった学生それぞれに受講後のアンケートや成果報告を実施することで、効果検証等を行っている。
- ・全学FD研修会は、授業改善につながるテーマを毎年実施している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

毎学期実施

2025（令和7）年度実施予定 春学期：2025（令和7）年7月中旬 ～ 7月下旬
秋学期：2026（令和8）年1月中旬 ～ 1月下旬

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケートの結果を委員会で報告するとともに、全教員へ共有している。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

桃山学院大学人間教育学部人間教育学科は、同一法人2大学（桃山学院大学、桃山学院教育大学）の統合を目的とし、桃山学院教育大学人間教育学部の教員組織と教育課程の同等性を維持し、2025（令和7）年4月に桃山学院大学に設置するとともに、教育研究拠点を集約した。本学部は、「自己を確立するとともに他者を尊び、愛と奉仕を実践できる豊かな人間性に基づき、人々が文化を継承し新たな時代の担い手になるための働きかけである教育という営みについて、専門的な教育研究を行うことを通じ、高い学識とグローバルな視野を持ち、社会に貢献する有為な人材の育成」を教育研究上の目的とした。

教育課程は教育内容の充実を図るために、一部授業科目を新設し、授業科目はすべて開講・実施している。教員組織は准教授1名の自己都合退職があったものの、概ね計画通りに編成・維持している。入学者選抜は、計画どおり実施し、2025（令和7）年度入学者は322名であった。施設・設備等についても、計画通り和泉キャンパスで授業および課外活動を実施している。

以上のことから、設置の趣旨・目的は概ね達成できていると考えている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・2029（令和11）年3月末 公表（予定）

b 公表方法

- ・大学Webサイト上に公表予定（2029（令和11）年3月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・2021（令和3）年度に公益財団法人大学基準協会による大学評価（認証評価）を受審し、「評価の結果、貴大学は本協会の大学基準に適合していると認定する。認定の期間は2029（令和11）年3月31日までとする。」との結果を受けた。次回は、2028（令和10）年度に受審することを予定している。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

- a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ a で「有」の場合 ≫

- b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

- c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ a で公表「無」の場合 ≫

- d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。